

# つづれさせ

小川未明

青空文庫



お祖母<sup>ばあ</sup>さんは、あかりの下<sup>した</sup>に針箱<sup>はりばこ</sup>をおき、お仕事<sup>しごと</sup>をなさっていました。そのうち、押<sup>お</sup>入れから行李<sup>こうり</sup>を出<sup>だ</sup>し、なにか、おさがしになりました。

「おばあさん、なにをなさるの？」と、武<sup>たけ</sup>ちゃんはいいました。

「つづれさせが鳴<sup>な</sup>くから、うかうかしてられません。」と、おっしゃいました。

「つづれさせって？」

「ほら、リーリーと、鳴<sup>な</sup>くでしょう。」

「こおろぎのこと、どうして、つづれさせっていうの？」と、武<sup>たけ</sup>ちゃんが、聞<sup>き</sup>きました。

「あの鳴<sup>な</sup>きごえを、昔<sup>むかし</sup>の人は、じき寒<sup>さむ</sup>くなるから、冬<sup>ふゆ</sup>の仕度<sup>したく</sup>をせよ、と聞<sup>き</sup>いたので、こおろぎを、つづれさせというのです。」と、お祖母<sup>ばあ</sup>さんは、お答<sup>こた</sup>えになりました。

「昔<sup>むかし</sup>って、遠<sup>とお</sup>い前<sup>まえ</sup>のことなの？」

「そう、おばあさんの、そのまたおばあさんのころから、夜<sup>よる</sup>が長<sup>なが</sup>くなると、みんな、よなべをしたものです。」

武<sup>たけ</sup>ちゃんは、だまって、リーリーと鳴<sup>な</sup>く、こおろぎの声<sup>こえ</sup>を、聞<sup>き</sup>いていました。  
いい月夜<sup>つきよ</sup>で、窓<sup>まど</sup>のかきの葉<sup>は</sup>が、黒<sup>くろ</sup>くうつりました。



# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 13」講談社

1977（昭和52）年11月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「僕の通るみち」南北書園

1947（昭和22）年2月

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2019年11月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<https://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# つづれさせ

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>